

平成22年7月11日執行

参議院選挙区選出議員選挙公報 (第1頁)

三重県選挙管理委員会

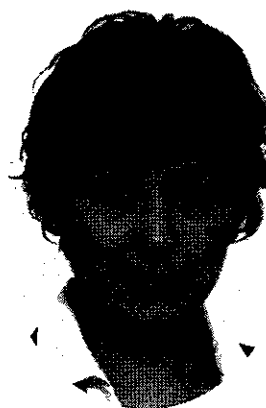
みんなの党
みんなの党

みんなの党の主張は「増税の前にやるべき事がある！」です。

消費税アップ反対

まず、議員や公務員削減・給与カット、天下り撲滅、埋蔵金発掘などをするべきで、増税するのはその後です。

「みんなの党」はあなたの党です。



やはらゆかこ8つの政策

1・いのちを最優先。

医師として得た知識と経験で、いのちの重さを最優先に考えます。

2・次の世代の事を忘れない。

子ども手当は、「子ども達への世代を越えた時限爆弾」です。次の世代にツケを回すのではなく、次代にとって有益な施策を実施します。

3・女性の痛みを社会が知る事。

女性にしかわからない「痛み」があります。その「痛み」を知ってもらう努力を続けます。

4・他国の痛みが感じられる日本外交を。

自分の国の事だけでなく、世界全体を考える外交姿勢が大切です。国民の幸福は、軍事力や経済力の強さとは別だと信じています。

5・公務員改革が必要です。

ニセ公務員改革の化けの皮がはがれてきました。一部の役人や公務員が抱え込んでいる、既得権益を徹底して解体し、国民主体の制度に改革します。

6・議員歳費の見直しは当たり前。

主権者は国民です。当然、国会議員の数も厳しい目でチェックする必要があります。

7・地域の活性化を住民といっしょに。

地域の活性化とは、地域の人々自身が考え、知恵を出し育てていくものです。私も、地域の一人として参加し、共に地域づくりをして行きます。

8・未来の食を守る事は明日への責任です。

食品の安全性の確保と、食料自給率の向上は、日本の未来にとって欠く事の出来ないものです。また、同様に地域の生産者を大切にすることは、自分達の食を守る事でもあるのです。

3

国民本位の改革をします。

「小さな政府」で捻出したお金を、医療・介護・年金に充て、「大きなサービズ」を実現します。

2

経済的弱者の痛みが原点です。

デフレの早期脱却を図るため、早急に金融政策に力を入れます。

1

現場の小さな声を国政に反映します。

現場に入り、一人ひとりの痛みに寄り添い、その声を政治に活かします。

やはらゆかこの決意

皆様にお約束します。

私は「上に立つ人間」でもなければ、「先生」でもありません。みんなで悩み、みんなで考え、みんなで行動を起こす。そんな「みんな」の中の一人です。

いつまでも、市民としての常識や疑問を忘れてしまいう事無く、市民の声を政治の場に届けていきます。

経歴 1975年(昭和50年)7月11日生まれ
梅村学園三重中学校、梅村学園三重高等学校普通科を経て
2000年3月 三重大学医学部医学科卒業[医師国家資格取得]
2000年5月 三重大学医学部附属病院放射線科勤務
2010年5月 退職

【ホームページ】 ← 検索
<http://www.yahara-yukako.com/>

みんなの党公認 やはらゆかこ

35歳・医師

参議院選挙区選出議員選挙公報 (第2頁)

三重県選挙管理委員会

日本の将来のため、信念を貫く。

KOHEI ONOZAKI

強い日本!

まずは雇用・経済

三重県内の雇用情勢も急速に悪化しています。若い親が働けない、学生たちに就職先がない。まずはこんな現状を打破しなくてはなりません。やる気のあるひとに仕事がある。働ける。これが生活の基本です。強い日本、強い経済。若者も女性もシニアも目を輝かせて働く、情熱と汗が報われる健全な社会。ヘルスケアや環境といった成長分野への投資や法人税引き下げなどで、世界で負けない強い日本を創ります。

1

次世代のための安心の日本!

社会保障と財政再建・税制改革

若い人が夢をもって家庭を築くことができる。団塊世代が安心してリタイアできる。お年寄りがニコニコの生活を送る。こんな暮らしは社会保障の充実があってこそ。特に三重県で緊急課題となっている医療・介護の再生、そして児童福祉や子育て支援を中心に社会保障政策に全力を注ぎます。その安定財源確保のためにも、財政再建と消費税増税を含む税制改革に「信念」で真正面から取り組みます。

2

日本を守る!

国土と国民を守る安全保障

東アジア情勢が緊迫する中、私たちの国土と国民を守る安全保障の重要性は日増しに高まっています。日米安保体制を基軸に、国防の課題に重点的に取り組みます。また、新型インフルエンザや口蹄疫が生活・経済に甚大な影響をもたらしているなか、感染症対策を含む公衆衛生政策は世界で三重県でますます重要になっています。おのざき耕平は「公衆衛生は安全保障課題」と捉えて全力で取り組みます。

3

いまこそ改革!

政官業の鉄のトライアングルをぶっ壊せ!

政治とカネの問題は政権交代後も変わっていません。政治家・官僚・業界団体の「鉄のトライアングル(三角形)」による利益誘導政治や労働組合の違法選挙・ヤミ献金にはいい加減に終止符を打たなくてはなりません。本当に「クリーンな政治」を実現する決意を政治家は行動で見せなくてはなりません。おのざき耕平は、利益誘導政治や天下り容認につながる、特定の業界団体からの推薦や政治献金を一切受けません。

4



自民党公認

おのざき 耕平

40歳

小野崎耕平(おのざきこうへい)

生年月日/昭和44年9月16日
三重県桑名市生まれ(40歳)
家族/妻、男の子3人(9歳、5歳、2歳)
座右の銘/絶対に諦めない!、信念を貫く
スポーツ/剣道、バイク
最近印象に残った映画/「男たちの大和」
週末の過ごし方/子どもたちと思い切り遊ぶ

略歴/法政大学法学部卒業後、健康医療関連企業のジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)などで約11年勤務。2004年ロータリー財団国際奨学生として米ハーバード大学公衆衛生大学院に留学、06年理学修士課程修了(MS、健康・医療政策)。同年自民党全国公募に合格、翌07年参院選に三重選挙区より初出馬(落選)。その後、自民党三重県連政策企画、鈴鹿短期大学客員准教授、超党派の民間シンクタンクである日本医療政策機構などを経て現在に至る。
テレビ出演「朝まで生テレビ」ほか、医療・社会保障関連を中心に記事・講演等多数。共訳に「知識コミュニティの経営」(シュプリンガー東京)、「実践ガイド 医療改革をどう進めるか」(日本経済新聞出版社)。
いまも週に1回は法政大学で教壇に立ち将来を担う学生たちに健康政策を教える。

比例代表では「自民党比例候補者名」が「自民党」とお書きください。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

参議院選挙区選出議員選挙公報 (第3頁)

三重県選挙管理委員会

大企業減税の穴埋めのための

消費増税に反対つらぬく

アメリカと財界にモノが言える政治を



「米軍基地のない本場に独立した日本」「国民のくらしと権利を守る。ルールある経済社会」をつくり、

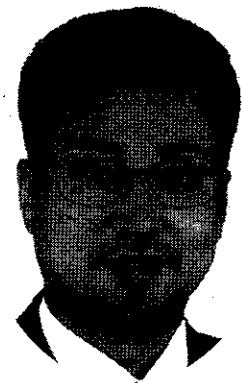
「国民が主人公」の新しい日本を

三重県のみなさん。国民の願いに込めて、政治を前へすすめるために、いま、何が必要でしょうか。

普天間基地撤去を求める沖縄の願いを踏みにじり、「辺野古への移設」という、日米合意を結んだのは、「アメリカにモノが言えない」政治に根拠があります。また、労働者派遣法改正案が、使い捨て労働を野放しにする、「抜け穴」だらけの欠陥法になったのは、大企業の圧力に屈したからです。

日本共産党は、大企業の身勝手な首切りに対し、日本経団連や大企業に、「雇用を守る社会的責任を果たせ」と直接交渉しました。普天間基地についても、志位委員長が訪米し、米政府と会談。沖縄県民の声を伝え、「解決の方法は、無条件撤去しかない」と、伝えてきた政党です。

「アメリカと大企業にモノが言える」日本共産党を伸ばしてこそ、政治を前へすすめることができます。あなたのご支持を、中野たけしと日本共産党へお寄せ下さい。



「国民が主人公」の新しい日本を

国民の立場で堂々とモノを言う 日本共産党だからこそできる

中野たけしの5つの実行

- ① 普天間基地は、無条件撤去を
- ② 正社員中心の雇用へ転換。「日本の宝」——中小企業の本格的振興
改正する労働者派遣法の「抜け穴」は、許しません。大企業と中小企業との公正な取引ルールを確立。
- ③ 子どもと高齢者の医療費無料、最低保障年金制度の創設
後期高齢者医療制度の速やかな廃止。国民年金は、月額8万3千円に。
- ④ 農林漁業と農山漁村の再生
農業＝輸入自由化ストップ、再生産可能な価格保障・所得補償の実施。
林業＝外材依存政策を転換し、国産材の利用拡大と森林整備の補助拡大。
漁業＝資源管理と一体に、再生産可能な魚価の保障。
- ⑤ 消費税増税でなく、2つの聖域にメス 財源確保
在日米軍への「思いやり」予算や海外派兵のための軍事費、特権的な大企業・資産家減税にメス。消費税増税に反対。

原点は

『人間らしく働ける社会を』

中野たけしが政治家を志した原点です。

朝は6時半から、夜は8時を越えて10時まで——私が、スーパー勤務のときに経験した月90時間の残業。そのほとんどが不払い残業でした。

「人間らしく働ける社会を」——私は、労働者の解雇が広がる中で、失業者の救済に取り組み、「身勝手な首切りはやめよ」と、大企業に直接交渉を重ねてきました。正社員中心の雇用へ転換をすすめます。



【略歴】 ●1974年鈴鹿市生まれ。36歳。天栄中学、津高校、都留文科大学卒。●04年参院選、05年衆院選(三重2区)、07年参院選、09年衆院選(三重2区、比例東海)に立候補。●鈴鹿市在住。家族は、妻と長男。●趣味は、カヌーと登山、ジョギング。現在、党県書記長、准中央委員。

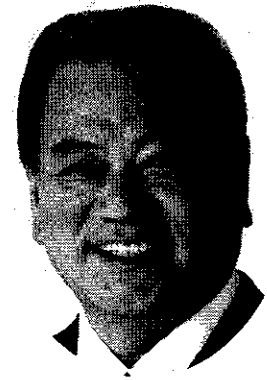
中野たけし

日本共産党

参議院選挙区選出議員選挙公報 (第4頁)

三重県選挙管理委員会

元気な日本を復活させる。



日本を「新しい時代」へと動かしていく取り組みを三重の地から発信し、地域の皆さんの思いにまっすぐ応えられる政策を責任もって実行します。

国民の生活が第一。

1. ムダづかいと天下りを根絶し、財政を健全化させます。

地元への利益誘導の政治から、事業を刷新する政治へ。政治に対する評価が変わりはじめました。

2. お金のかからない、クリーンな政治を実現します。

まず、政治家自らが身を削ることで、国民の信頼を取り戻します。世襲やお金持ちでなくとも、志があれば誰でも参画できる政治をつくります。

3. 責任ある外交で、開かれた国益を実現します。

地殻変動ともいうべき国際社会の大きな変化の中で、世界平和という理想を求めつつ、現実主義を基調とした外交を推進します。

4. 未来を担う子どもたちへの政策を最優先にします。

チルドレン・ファースト。子育て支援や高等教育も含めた教育政策のさらなる充実で、社会全体で子どもを育てる国をつくりあげます。

5. 病気や高齢への不安を全力で減らしていきます。

財源を確保して、持続可能な社会保障制度を構築します。

6. 現場で働く人たちを応援します。

高齢者、女性をはじめ働くことを望む全ての人に就業のチャンスがある社会をめざします。格差是正やワークライフバランス(仕事と生活の調和)に取り組みます。

7. 農林水産業を再生し、食料自給率向上と「食の安全」確保を実現します。

農林水産業を成長産業と位置付けて、従来の政策の抜本的な見直しに引き続き取り組みます。

8. 郵政改革で、みんなの為の郵便局にします。

「郵政改革法案」については、次期国会で最優先課題として速やかな成立を図ります。

9. 「地域主権改革」で、地域の活力を再生します。

地域の権限や財源を大幅に増やし、地域のことは地域で決められるようにします。

10. 交通政策・公共事業のあり方を見直し、地域を活性化します。

人の移動や物流にかかわる負担を軽減します。地域の実情に応じた移動手段を確保します。

芝

博

かず

言うだけなら、誰でもできる。

私は「実行」

強い経済、強い財政、強い社会保障。

にこだわりたい。

The Democratic Party of Japan
民主党